

新型コロナウイルス感染症から身を守るために
看護学部から学生への応援メッセージ NO6

夏休みも終盤となりましたが、学生の皆さんはいかがお過ごしでしょうか。
愛知県における新型コロナウイルス感染症に向けた緊急事態宣言は8月24日をもって解除となり、日々発表される新型コロナウイルス感染症の陽性者の数は徐々に減少してきました。しかしながら、関東圏や関西圏においてはまだまだ高水準の陽性者の発生が続いており、しばらくは感染予防の手を緩めることができない状態が続きます。

さて、2週間後には後学期が始まります。後学期においては、寒く乾燥した季節を迎えますので、前期に増して、感染症対策をしっかり講じた上での学業となります。看護学部では後期も感染拡大の状況を見極めながら、オンラインによる授業と対面での授業を組み合わせ進めていきます。すでに学生の皆さんには後期のスケジュールをお知らせしておりますので、生活リズムを整え、後期の学修に備えてください。

後期を迎えるにあたり、大学として、皆さんに「確実な体調管理」を義務づけます。これまでも学生の皆さんには「体調管理確認シート」への入力をお願いしてきましたが、実態としては100%の入力達成には至っておりません。今後は確実な体調管理を継続することを目的に、毎日の「体調管理確認シート」への入力を義務付け、実習はもとより、大学への入構の条件とさせていただきます。大学での感染拡大を引き起こさないために、学生の皆さん一人一人の協力をお願いいたします。

看護学部長

《学生の皆さんにこれから課されること》

1. 体調管理確認シートへの入力義務づけ

後期からは、大学への入構条件として、14日間連続の体調管理確認シートへの入力を義務付けます。体調管理確認シートへの入力がない学生は、大学及び実習施設で授業（講義・演習・実習）を受けることができません。マルチメディア教室（予約制）、図書館への入館（授業がある日程のみに限定）、医心館への入館についても同様の条件が前提となります。

後学期が9月15日より（4年生は9月14日より）始まりますので、これまで体調管理確認シートへの毎日の入力を行ってこなかった学生は速やかに体調管理シートへの入力を習慣づけてください。看護学部では毎日、学生の皆さんの入力状況を確認し、入力のなかった学生へは注意喚起しております。

2. 大学の活動基準を踏まえた移動の制限

現在、実家等で、東海3県以外の地域に滞在しておられる学生は後学期ガイダンス

の10日前までに下宿等へ移動し、体調を観察してください。大学では活動基準を毎週見直しております。毎週、大学のホームページにアクセスして、現在の活動基準をよく確認し、従ってください。

《学生の皆さんに推奨すること》

1. 『新型コロナウイルス接触確認アプリ』(COCOA)活用の勧め

厚生労働省はBluetooth機能を利用して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができる『新型コロナウイルス接触確認アプリ』(COCOA)を開発し、活用を呼び掛けております。学生の皆さんにもご自身のスマートフォンにインストールし、活用することをお勧めします。